硫黄鳥島の火山活動解説資料（平成 25 年６月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター
沖 縄 気 象 台 地 震 火 山 課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月１日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況（図２～図４）

24 日に気象庁地球環境・海洋部が海上から実施した観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口及び中央部に位置するグスク火山火口から、従来から認められている少量の噴気を観測しました。前回の観測時（2013 年４月 15 日）と比べて状況に特段の変化は認められませんでした。

図1 硫黄鳥島 火口位置図

図2 硫黄鳥島 硫黄岳火口の状況（火口南西側から撮影）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html）でも閲覧することができます。

本資料中の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『25000 分の１地形図』を複製しています（承認番号：平 23 情複、第 492 号）。

図3　硫黄鳥島　グスク火山火口の状況（火口東側から撮影）

図4　硫黄鳥島　全景（島南東側から撮影）